

おおくら 議会だより



まもなく桜の季節に (鍵金野パークゴルフ場)

もくじ

3月定例会	2～3P
予算特別委員会	4P
一般質問	5～10P
産業建設常任委員会報告	11P
議会改革検討委員会報告	12P
選挙制度変わります	13P
ブレイクタイム	14P



発行／
〒996-0212 山形県最上郡大蔵村大字清水2528番地
大蔵村議会 0233-75-2111
編集／議会広報常任委員会 年4回発行
発行責任者／議長 鈴木君徳
印刷／共栄印刷株式会社

で新年度スタート!!

総額53億4370万円

3月定例会
令和4年度
当初予算

一般会計 38億2000万円 特別会計 15億2370万円

3月定例会が8日から11日にかけて開催され、新年度予算案に令和3年度補正予算等を加えた35議案と議員発議2案を審議可決。先立って行われた一般質問では5人が村当局の考えをただし、国道迂回路、基盤整備事業の課題等に関し活発な議論が交わされた。

専決処分

- ・令和3年度一般会計補正予算7号
(子育て世代への臨時特別交付金、灯油購入支援)
- ・令和3年度一般会計補正予算8号
(住民非課税世帯への臨時特別交付金支給)
- ・令和3年度一般会計補正予算9号
(ふるさと納税の増、除排雪業務委託料の増)

条例の設定・改正

- ・議員・村長選挙の選挙運動の公営に関する条例設定
(お金がかからず、立候補しやすい環境に)
※詳しくは13ページに
- ・子育て支援センター設置条例の設定
(乳幼児を持つ保護者の子育て支援のため)
- ・特別職の給与に関する条例の一部改正
(消防団員の報酬見直しのため)
- ・村の慶祝金支給条例の一部改正
(子育て環境充実のため、誕生祝金・入学祝金の拡充)
- ・大蔵村消防団条例の一部改正
(消防団員の定数の見直し)

令和3年度補正予算

- ・令和3年度一般会計補正予算
(圃場整備事業費の増。他は事業清算が主)
- ・令和3年度特別会計(水道・下水・診療所・浄化槽)
(主に事業の清算によるもの)

新年度予算

- ・令和4年度一般会計他7特別会計
(予算委員会を経て全会一致で可決)

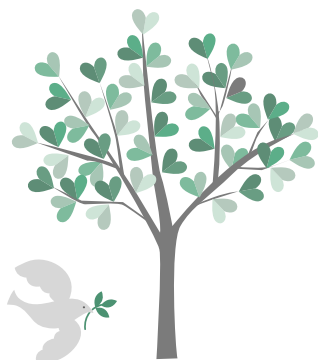
請願の審査

「村道柳瀬・藤野間の迂回路整備に関する請願」

- ・請願者
肘折地区代表 大友 久士
金山地区代表 菅野 熟
鍵金野地区代表 早坂 充
肘折温泉旅館組合長 高山 茂
肘折温泉商店組合長 横山 努
四ヶ村開発協議会長 佐藤 勝

- ・請願事項
①国道458号線の災害発生を想定した迂回路の整備を村当局及び関係機関に要請すること
- ②国道458号線自体の防災対策の強化を関係機関に要請すること

- ・審査結果 《採 択》
吉村知事に意見書を提出



人事案件

- ・村辺地に係る総合整備計画の変更
(村営バス肘折・新庄線の車輛を新しく)
- ・村道路線の認定及び廃止
(国道458号改修に伴うもの)
- ・固定資産評価審査委員会委員の選任に同意
★伊藤 美恵子 氏 (清水) 再任
- ・人権擁護委員候補者の推薦に同意
●小屋 久好 氏 (清水)
- ・人権擁護委員候補者の推薦に同意
●長南 智美 氏 (豊牧)



決議

「ロシアによるウクライナ侵攻について」

- ・提議者・佐藤 勝 議員
- ・決議内容

ロシアは世界中の平和を望む切なる願いに反し、ウクライナへの軍事侵攻を開始した。さらに、核の力を背景に国際社会の安定を一層脅かしている。

このことは、国際社会ひいては我が国の平和と秩序、安全を脅かし、明らかに国連憲章に違反する行為であり断じて容認できない。

ここに、本議会はロシア軍による攻撃やウクライナの主権侵害に抗議するとともに、世界の恒久平和の実現に向け、ロシア軍を即時にかつ無条件で撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める。

- また、政府においては、邦人の確実な保護や我が国への影響対策について万全を尽くすこと。

審査結果

遠い国での争いではあるが、たとえ小さくとも私たちの声がいっか届き、平和な世界が一日も早く取り戻せるよう願って議員全員が賛同し、決議した。



ここが知りたい

村政を問う

一般質問
3月
定例議会



一般質問とは？

村政全般に対し議員が質問し、意見を述べ村政をただしていくもので、大蔵村では1議員の持ち時間が45分です。

おおくら君28世 完成式
今年も、大蔵村名物巨大雪だるま
完成しました。
・身長13.6M ・ウエスト98.0M
・体重2,095 t



5議員が一般質問

6P 佐藤 勝 議員

○迂回路の必要性はどう考える？

7P 加藤 忠己 議員

○二日町地区水田基盤事業と
ポンプ設備の更新
○村道比良・二日町線の拡幅

8P 佐藤 雅之 議員

○豪雪対策本部設置要件の見直しなど、実情に
即した豪雪対策を
○介護職の処遇改善が、保険料等の負担増に直
結しないように配慮を

9P 早坂 民奈 議員

○小さき声、届いていますか？

10P 斉藤 光雄 議員

○安心・安全の大蔵村で暮らす



●保育料完全無料化へ ●村営バスが新しく



予算審査

予算審査特別委員会

一般会計

歳入

問 固定資産税がコロナの影響で再び減額措置となった場合は、国などから補填されるのか。

答 その場合、新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金で交付されると思われる。

問 森林環境譲与税に伴って山形県でも緑環境税を集めているが、山形県民は二重に払うことになるのか？

答 令和6年から国の森林環境税の徴収が始まり、県の緑環境税もそのまま払うことになる。

歳出

問 村営バス3400万円の内容は、またバスの外装（ラッピング）は、2台分で4駆車。ラッピングやグレードもこれまでと同様のもの。

答 村営バス3400万円の内容は、またバスの外装（ラッピング）は、2台分で4駆車。ラッピングやグレードもこれまでと同様のもの。

問 コロナ禍で村営バス内の間仕切りなど、感染対策も必要。また、旅行者の荷物でバス通路が歩きづらいとの声もある。PR看板と荷物の収納についても検討を。

答 検討する。

問 小型除雪機購入費補助金の二重は？

答 一般質問で指摘されるなど二重があると考えている。

問 要援護者巡回事業は、事業としては素晴らしいが対象者からは様々な要望や不満が聞かれる。対象者からアンケートなどを取って事業に反映させてみては？

答 検討する。

問 防犯カメラ設置事業の詳細は、

答 村内に入る主要な道路を手始めに、その後村内の必要な場所に広げる。

問 カルテラ館の改修が毎年のようにあり、休館が

多いと苦情多いが？

答 木造施設でもあり改修が必要。人気があり今後とも残したいと考えている。

問 収入保険新規加入緊急奨励事業費補助金の内容は、

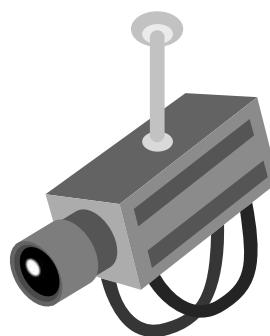
答 農家の収入保険料9万円の3分の1ずつを県と村で補助するもの。

問 未来塾事業の成果は、見学できるか。

答 成果は長期に見ていたきたい。見学は可能。

問 合海団地浴室改装工事内容は？

答 全10棟のうち、4年度は3棟、5年度3棟、6年度4棟を改修予定。



特別会計

問 未就学児の国民健康保険均等割負担金をなくすために国庫負担金を今年からくることになったが、収入のない子どもの負担をなくすという趣旨であれば、中学卒業ないし高校卒業までの均等割負担もなくすべきでは。村として補填すべきでは？

答 財政の裏付けがなくなり「短命に終わって」はならない。村として負担する考えはない。

問 ふれあいサロンの交付金だが、村内には何団体あり1団体当たりいくらの交付金が交付されているのか？

答 村内には14団体あり、1団体当たり3万円から5万円を交付している。

問 後期高齢者医療保険料が来年度増えている原因は？

答 2年に1度保険料改正があり令和4年度から所得率が、0.12%増になるため。



佐藤

勝 議員

迂回路の必要性をどう考える 村長 迂回路の機能維持と災害 に強い国道を

問1 国道458号線日陰・升玉で雪崩による通行止めが数回あった。また、木遠田や日陰のスノーシェードも基礎部分が不安定のため、片側交互通行が数カ月おこなわれている。

この路線は、肘折や四ヶ村地区において唯一の基幹道路であり、災害のたび通行止めになれば当該地区は完全に孤立状態になり、生活や観光事業、緊急時における影響は大きい。

この状況を想定して「柳

渚・蔵野」間を迂回路として改良工事するよう何度も訴えてきたが、様々な問題で受け入れて頂けなかった。災害が起きてから「通行止めです。迂回路はありません。ご理解ください」という現状から当該地区の生活を守るため、再度迂回路について検討すべきと思うがどうか。

答1 村道蔵野柳渚線は、これまでも国道の迂回路として利用されてきた。「整備」には至っていないが、

常に国道が通行止めとなるリスクを背負っているため冬期間も除雪を行い、幅員は狭小でも迂回路としての機能維持を行っている。ただ、令和2年7月の豪雨、

問2 以前、施政方針で「ダブルルートを確保する」と言っているが。

答2 やらないとは言っていない。村道蔵野柳渚線には一億一千万円の巨費を投じて側溝を作り、ふたを飛ばせた。何の手立てもして

いないわけではない。二次災害の危険も考えながら村道だけではなく、農道や林道の活用、国・県への要望をおこなう。すべての地区にダブルルートは難しい。迂回路が無くても大丈夫な国道の環境にしてゆきたい。



令和4年2月3日(水) 国道458 日陰地内

村道比良・二日町線の拡幅 村長 拡幅計画は難しい

問 村道比良・二日町線は幅員が狭く急勾配でカーブが多く、将来農業機械が大型化し道路の拡幅が必要となった場合、県の指定史跡の中を通る村道の拡幅工事等は県の許可が必要になると思うが、通常許可を得るにどのくらいの期間を要するものか、また他市町村でこのような事例等把握しているのか。

答 村道比良・二日町線の拡幅は、令和3年10月に県の文化振興・文化財活用課の事前調査を受けた結果、県営基盤整備事業において外堀を含む北側については、地下遺構の保存に重大な影響を与え史跡価値を損なうとして事業地区外であり、村道も史跡範囲の中を通っているため拡幅は難しい。県では近年にこの様な事例は無いとの報告。



加藤

忠己 議員

二日町地区水田基盤事業と ポンプ設備の更新 村長 村負担を増やすことは難しい

問 村内各地で水田の基盤整備が行われ、二日町地区も事業採択に向け進んでいますが、開田当初よりポンプによる揚水は不可欠で50年以上稼働し著しく老朽化が進んでいる状況です。当初農地の整備とポンプ設備

の更新は一つの事業としてできると理解していましたが、ポンプ更新の事業は別事業であり地元負担金が生じると説明を受けました。米の価格が将来において不

透明な中、地元負担金は継続できる米作りに大きな負担となり、担い手と若い農業者に意欲を与える為にも村負担分を増やし地元負担分が少なくなることを農家は望んでいます。

答 二日町地区の県営基盤整備事業は、当初計画では単独での事業採択を目指し、揚水ポンプの更新も含めた事業計画で進行しておりました。計画策定中、事業費を試算した結果、新規採択

の指標値を大きく上回り、加えて費用対効果を出すための高収益作物転換面積が52%と、採択に向け現実的な内容とならないことが判明した。



二日町揚水機





佐藤 雅之 議員

豪雪対策本部設置要件の見直しなど、実情に即した豪雪対策を 村長「対策本部」設置、遅かったとは考えていない

問1 豪雪地帯では積雪、「肘折」防災センターなどを数メートルの生活が常態化している。少子高齢化が進み、社会・経済情勢が昔前と違う中で「豪雪に慣れているから」では済まされない。豪雪対策本部の基準が「元々の豪雪地帯」という理由で厳しいのであれば、見直しを図るべき。具体的には①村内一律の「対策本部」設置ではなく、積雪量の多い山間部は早めに設置を検討する②「沼の台」・

答1 この冬の降雪・積雪状況を見ると、肘折・沼の台観測所の数値は平年に比べ1日当たりの降雪量が比較的小なく、平年の積雪量が推移している。一方平野部で平年より積雪量が多い傾向があり、他市町村で「対策本部」設置が相次いだ。村内3つの観測地点で過去10年の最大積雪深の平均値を基に10%増の場合を設置基準としている。村民生活に著しく支障が出る場合は、基準外でも柔軟に対応している。①この冬の対策本部設置が遅いとは考えていない。②防災センターへの窓口設置は、職員配置を考えると困難。③豪雪対策除排雪事業は、他町村にない本村独自の支援策。自分の財産は各自で守ることが大前提。生活弱者は福祉側で対応している。補助金申請時の写真添付は「適正な執行」の観点から最低限提出すべき。

問2 村長は、施政方針で「今までこうだったから、という固定概念をもっていては進歩どころか衰退してしまう。大規模自然災害から村民の生命と財産を守る」などのべているが、「豪雪は災害」との認識はあるか。「自分の財産は各自で守る」との答弁と施政方針演説に矛盾を感じないか。

答2 施政方針の内容と、先の答弁とは矛盾するものとは考えていない。

問 岸田政権の目玉政策として介護職等の賃上げ策が議論されている。他産業に比べ介護職などは著しく賃金が低く、処遇改善は大きい進めるべき。他方で、今年10月以降は、引き上げを「介護報酬」で対応することも想定され、介護保険第8期の途中での保険料の引き上げも懸念される。村長の考えを伺う。

答 保険料が不足する場合、村の介護給付費準備基金の



早坂 民奈 議員

小さき声届いていますか 村長 介助が必要な方は職員が対応

問1 元気な時は気づかない小さい事だが、生活に密着した切実な声について伺います。

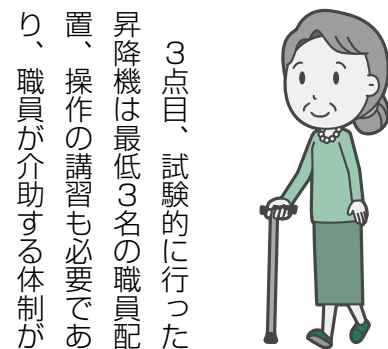
1点目、診療所や中央公民館の壁に手すりが無い。身体的、体調が悪くふらついたりする時、手すりが有れば良いのではないか。

2点目、階段を利用するのにスリッパでは歩きにくく、下りる時はスリッパを手に持ち下りて来る。冬は床が冷たく靴下で滑りそう危険。滑り止めのマット

答1 診療所・中央公民館の建設当時はバリアフリーの概念が薄く、高齢化が進んでいく本村の施設利用にご不便をかけているのは認識している。

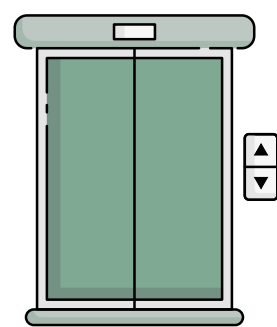
1点目の手すりは壁の強度や廊下幅等、建設基準をクリアしなければならぬ。また、設置間隔が短くなり、手すりの機能が十分に図れるか課題がある。診療所では歩行器を5台設置すると共に、職員が介助する体制を整えている。中央公民館も構造上の面で難しく同じく職員に声掛けして頂きたい。

2点目、診療所は衛生的に保たなければならず、床マットは医療施設には敷けない。公民館全館を下足利用にした場合、雨や降雪により床が滑りやすくなり、危険である。利用者が自分に適した上履きを持参して頂くなどのご協力をお願いしたい。



答2 イスと杖については思い付きで言うのではなく職員に直接話して欲しい。

問3 思い付きではない。高齢者社会となり、安心して生活していくためにも、小さい声をこれからも届けていくので耳を傾けて頂けることを願っている。



問2 エレベーターが無理なら、いす式階段昇降機もある。金額も高額でなく工事も1日程度で出来る。また、車いすと認識していたので歩行器があるのは知らなかった。少しのふらつきには仰々しいのではないか。職員に声掛けして介助をお願いするには、大人数の時は大変でないか。せめて玄関にイスと杖を置くことはできないか。



一般

質問



一般

質問

所管事務報告書

産業建設常任委員会

冬期間の村内道路及び積雪状況調査について



役場職員と議員による村内の積雪量調査
令和4年2月2日

2月2日冬期間の道路状況の調査を実施いたしました。積雪は昨年より若干少ない状況ながら、豪雪の様相を呈していました。積雪の中、村内隈なく巡回して、地域それぞれの降雪・積雪量の違いこそあれ、住民の生活から分離する事の出来ない道路であり、冬の厳しさを改めて痛感しました。

国・県道はもとより、幹線道路は除雪が行き届き、通勤や通学に支障をきたす様な危険箇所は見受けられませんが、重機の入れない路地や空き家の除雪などを検討する必要があります。

設置された防風雪柵や雪崩防止柵等は一定の効果があると見受けられます。ただし、国道458号線において、数回雪崩が発生し、一時的に通行止めになりました。この場所は雪崩や土砂崩れの常発地区であり、災害発生時は勿論、今後の災害防止策を国や県と協力し、通行の確保を図ってきたい。

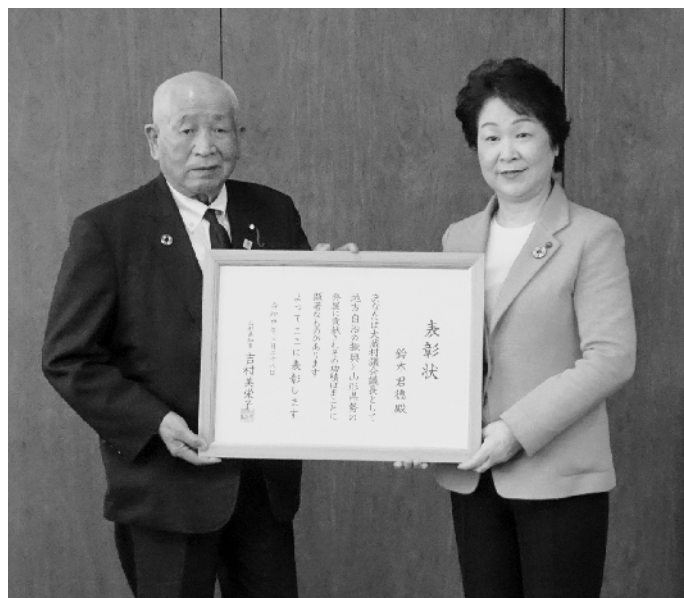
村では、管理総延長139.3kmの内、除雪車両の能力や道路事情を考慮し約61kmを計画路線とし、除雪機械16台をもって冬季交通の確保に努めている。豪雪地帯である大蔵村の、行政と除雪に関わる業者さんの昼夜を問わない努力に感謝したい。

半年間もの長い間、雪と共に生活している大蔵村として、除雪体制日本一の宣言通り、十分な予算と除排雪体制の充実強化を図っていきます。

鈴木君徳議長 山形県知事表彰

地方自治の振興と県勢発展に寄与した功績（議長在職5年以上、県町村議会議長会会長、副会長2年以上）により、県庁において3月28日、鈴木君徳議長が県知事表彰を受賞しました。

今後も、議会の先頭に立ってご活躍下さいますようお願いいたします。



問 平成29年のロータリー除雪機での死亡事故から、6年が経過し村での事故防止対策として機械メーカーと進めている除雪機の座席から離れると、安全装置が働き作動しないと云った対策を実現し、事故防止対策車輦として、村の全除雪機に導入を。

また、遺族の母親からもこの対策についてお話ししたところ、今後私の息子のような事故を起こしてもらいたくないとの話でした。村長の考えを伺う。

答 この事故を重大な事故と受け止め、除雪機械の安全装置の開発など、安全性の向上にむけた取り組みを関係期間に要望し、この事故を契機に、運転手が車外に出て作業する際の「巻きこまれ」事故を防止するため、エンジンが自動停止する装置を開発しました。現在特定車両において実機試験中で、来年度から製造される全ての除雪車に標準装備となり、来年度以降、村で購入する除雪車にも装着される。また、「後付け」

問 医師の定年を60歳から65歳に条例を改め、医師の確保は維持しておりますが、数年の間に定年を迎える。後の体制について、考えを伺いたい。

答 本村でも医師確保の重要性を確認しつつ、村が可能なものであれば、現有車にも装着を検討。二度と重大事故を起こさない対策として、除雪機械運転員の資格基準を明確にし、安全管理計画書の提出を求め適否の確認を行う。また、年に1回、労働基準監督署の職員を招き、労働災害防止に関する講習会を開催し、事故防止へ務める。

亡くなられた作業員のお母さんからも「私の息子のようないたかな」とお話しがありました。村として、安全管理を徹底し村民の生活基盤の確保に務める。

問 人口減少対策に特効薬は無いと言われますが、村には、前年稼働の升玉発電所があります。売電益を利用し、将来ある子供に給食費の無償、住民への電気料金還元、ふるさと納税の返礼品、色々考えられる。人口対策（移住）の種まきをし、人口減少対策として利用すべきでは。

答 当初から地方創生に資することを主な目的とし、事業費の大半を銀行の融資で賄い、融資条件として、経営の安定がなされた

段階で、費用支出が認められる事業であり、地域貢献への支出は、現時点で4・5年先を目途とし、決算状況を確認の上、費用捻出計画の作成を行う。また、村として発電会社からの法人税や固定資産税を原資として、令和4年度に誕生祝金・入学祝金の拡充や保育料の完全無料化を実施し人口減少対策、とりわけ、子育て支援に重きを置いた施策の実施により、移住策に結びつける。

安心・安全の大蔵村で暮らす 除雪体制 村長 安全に重きを置き生活基盤を確保



齊藤 光雄 議員

医療体制 村長 福祉の礎を後退させない

問 医師の定年を60歳から65歳に条例を改め、医師の確保は維持しておりますが、数年の間に定年を迎える。後の体制について、考えを伺いたい。

答 本村でも医師確保の重要性を確認しつつ、村が可能なものであれば、現有車にも装着を検討。二度と重大事故を起こさない対策として、除雪機械運転員の資格基準を明確にし、安全管理計画書の提出を求め適否の確認を行う。また、年に1回、労働基準監督署の職員を招き、労働災害防止に関する講習会を開催し、事故防止へ務める。

これまで進めてきた体制を維持して行くためには2名の医師と1名の歯科医師の常勤は欠かせないと考えています。今後、診療所の先生と相談し、村としての診療体制の

方向性を定め、県への要望や医師会・関係機関等と調整を行い持続的な医師確保に努め、福祉の礎を維持する。



人口対策 村長 子育て支援に重きを置く

選挙公営制度(公費負担)について

選挙公営制度とは、お金のかからない選挙を実現するとともに、立候補しやすいように、立候補した人が公平に選挙運動できるように、一定の範囲で立候補の者の選挙運動費用の一部を公費で負担する制度です。村では、来年春に予定される村長・議員選挙から適用されます。

区 分	自動車	ポスター	ビラ	供託金
村長選挙	○	○	※頒布解禁 ○	50万円
議会議員選挙	○	○	※頒布解禁 ○	※供託金導入 15万円

○印は公費負担となったもの

★選挙用自動車は

①『自動車、燃料、運転手込み(ハイヤー契約)』64,500円×5日=322,500円まで

②『それぞれ別に契約する場合(個別契約)』

自動車：15,800円×5日=79,000円

燃料代：7,560円×5日=37,800円

運転手：12,500円×5日=62,500円

最大=179,300円まで

★選挙運動用ビラの作成

上限1,600枚×7円51銭/枚=12,016円まで

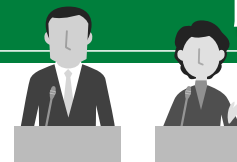
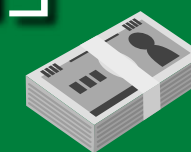
★選挙運動用ポスターの作成

上限41枚×8,099円/枚=332,059円まで

※供託金は、得票数が一定数(有効投票総数÷議員定数の1割)以上あれば、たとえ落選しても後日返還されますが、基準に満たない場合や、途中で立候補を取りやめた場合は没収となります(公費負担となるべき自動車やビラ・ポスター代金も全額自腹に)。



「議員定数・議員報酬」協議結果について



議会改革検討委員会 委員長 海藤邦夫

「大蔵村議会改革検討委員会」において、村民皆さんよりご意見として受けとめておりました「議員定数・議員報酬」について報告します。

本件については、当委員会において次期選挙に対応するため、任期終了前に結論を出すべく検討を重ねてきました。

その中で、少人数議員議会の実態を検証するため、他県の8人議会4町村を所管事務調査しました。その結果と当委員会の意見を次項に列記します。

1. 少人数は意見がまとまりやすいが、反面異なる意見がないと十分に討議されない事にもなりかねない。少数意見が出にくい。
2. 3つの常任委員会があるが、付託案件に対する確かな回答が出せたのか疑問視されることもある。
3. 村の場合集落が点在し、議員のいない地区の住民の声が行政に届きにくい。定数削減により、住民からの不満の声も聞かれる。
4. 少人数では災害発生時において、全体の状況把握が困難である。よって災害対策に時間を要する。
5. 意志ある若年者が参選できる環境づくりを要するため、定数を削減し門戸を狭くするべきではない。
6. 若年者が議員として十分な活動ができるよう、生活保障となる報酬は下げるべきではない。
物価高騰の現況に見合った報酬の改定を進め、議員活動に専念できる生活環境を保障することが今後の課題である。



以上内容を精査すると、定数削減はプラスになるものとは思えません。マイナス要素が大であるとの見解になりました。これらが大蔵村にあてはめると、再度詳細に協議した結果、来春の選挙については、現状維持との結論になりました。よって、定数及び報酬の削減はしないものとします。

また、全国の町村議会の動向を見ても、執行機関の政策運営監視機能低下や議会活動の停滞を招く恐れがあることから、定数については大きく変える状況にはなっていないのが現状であります。

現況コロナ禍での「議会報告会」は環境改善が図られるまで、延期状態になっていますが、議員個人の活動として、より一層村民の声を聴くことに専念します。

村民皆さんからも、気軽に議員もしくは議会にご意見くださるようお願いいたします。

以上、「議会改革検討委員会」の報告とします。

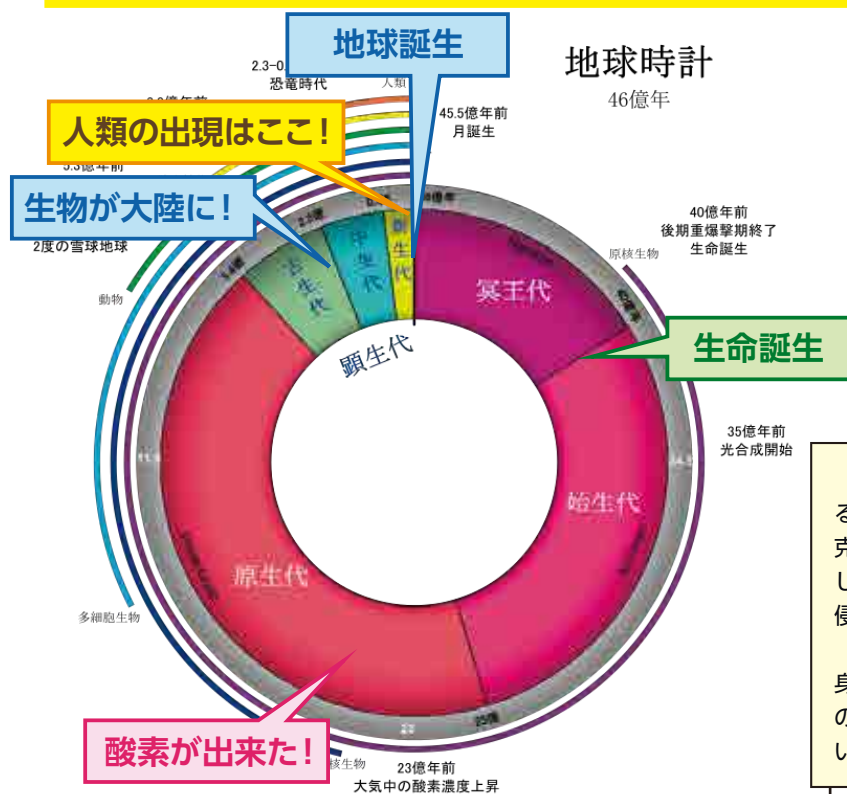
ブレイクタイム

46億年の地球の歴史を【1年間に当てはめると】

- ★地球の始まりを1月1日とすると、約40億年前に“生命”が誕生したのは2月頃
- ★大気に酸素が行き渡るのは、7月頃で
- ★生物が大陸に上がる時代は11月になってしまう
- ★人類の出現は12月31日の大みそかの夜で
- ★約5000年前にエジプト文明などが現れたのは「午後11時59分26秒」だという



21世紀の開幕もこの“宇宙歴”では、年明けのわずか1秒前!!



二酸化炭素の削減など地球を守る運動が盛んな現在。新型コロナを克服し安全な世界を導いていこうとしているときにロシアがウクライナ侵攻という暴挙に出て…

地球の歴史のほんのわずかな今、身勝手は許されません。改めて地球の成り立ちを見つめ、考えていきたいものですね。

議会広報 常任委員会

委員	委員	副委員長	委員長
齊藤光雄	早坂民奈	佐藤雅之	矢口智

(早坂 民奈)

我が家の庭に桜の老木があります。春になると見事に咲いてくれるのですが、ここ数年「つそ」鳥の被害にあったり、豪雪で枝が折れたり、寂しい限りです。村には桜の名所が多数あり、その一つに、沼の台地区の残雪の中で咲いている一本桜は、一面の白い霧が一層幻想的で、不思議の国に迷い込んだ感があります。そして何より忘れていけないのが、清水城址の桜です。わざわざ行かなければならないのと、時期を逃すと見ることが出来ません。でも村に住む者として、一度は是非見て頂きたいと思っています。ここで暮らしていたであろう先人の想いと息吹が、必ずや感じられるはずです。私自身も満開を見逃してしまいましたが、今年は是非心して見てみたいものです。そして、わが家の桜に「つそ」鳥が来ませんようにと願うばかりです。



清水城址

後書き

我が家の庭に桜の老木があります。

春になると見事に咲いてくれるのですが、ここ数年「つそ」鳥の被害にあったり、豪雪で枝が折れたり、寂しい限りです。村には桜の名所が多数あり、その一つに、沼の台地区の残雪の中で咲いている一本桜は、一面の白い霧が一層幻想的で、不思議の国に迷い込んだ感があります。そして何より忘れていけないのが、清水城址の桜です。わざわざ行かなければならないのと、時期を逃すと見ることが出来ません。でも村に住む者として、一度は是非見て頂きたいと思っています。ここで暮らしていたであろう先人の想いと息吹が、必ずや感じられるはずです。私自身も満開を見逃してしまいましたが、今年は是非心して見てみたいものです。そして、わが家の桜に「つそ」鳥が来ませんようにと願うばかりです。